

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第5区分

【発行日】平成17年10月20日(2005.10.20)

【公開番号】特開2003-96677(P2003-96677A)

【公開日】平成15年4月3日(2003.4.3)

【出願番号】特願2002-203845(P2002-203845)

【国際特許分類第7版】

D 0 6 P 1/382

C 0 9 B 62/51

D 0 6 P 1/384

D 0 6 P 3/24

【F I】

D 0 6 P 1/382

C 0 9 B 62/51 A

D 0 6 P 1/384

D 0 6 P 3/24 Z

【手続補正書】

【提出日】平成17年7月1日(2005.7.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

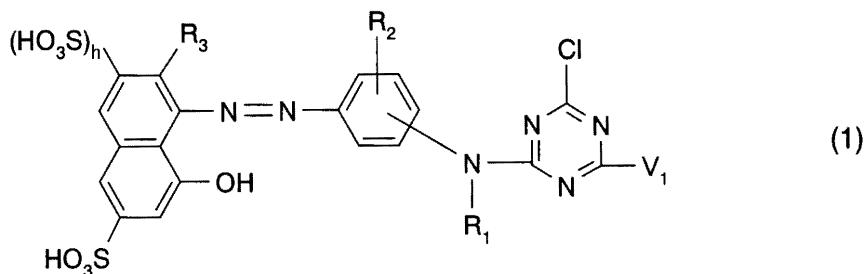
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

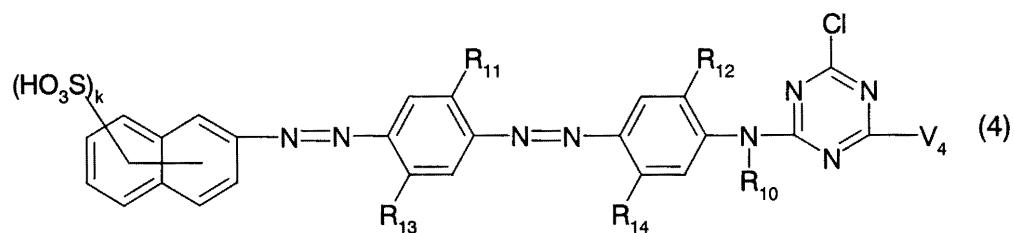
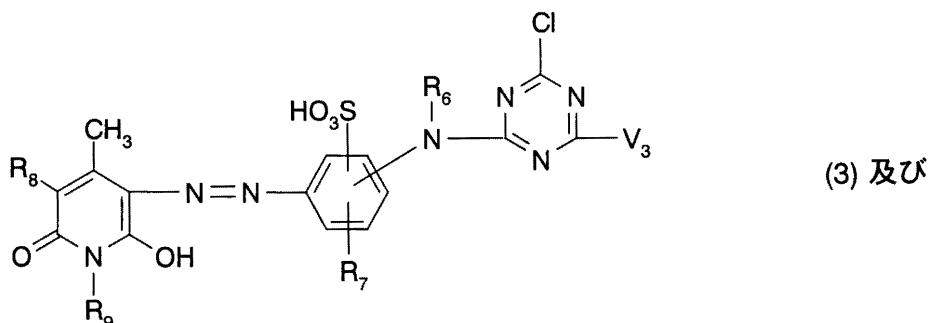
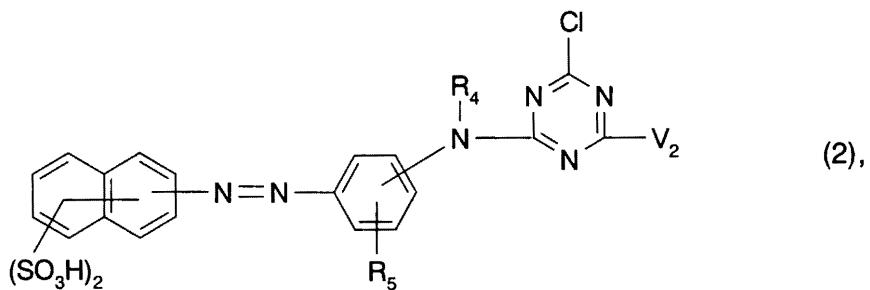
合成ポリアミド繊維材料の三色浸染または捺染の方法であつて、式(1)：

【化1】



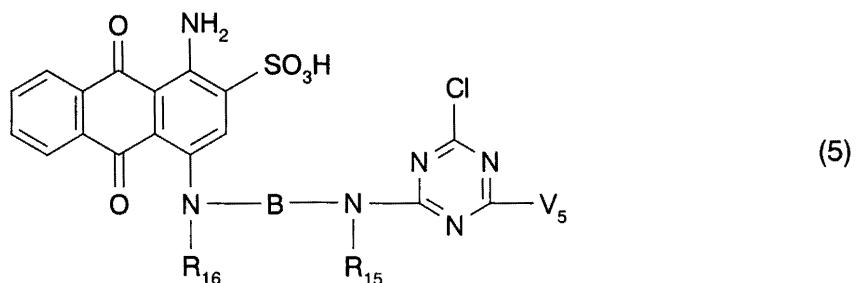
で示される少なくとも1種類の赤色の反応染料を、式(2)～(4)：

【化2】



で示される少なくとも1種類の黄色または橙色の反応染料と、式(5)：

【化3】



で示される少なくとも1種類の青色の反応染料、

[式中、

R<sub>1</sub>、R<sub>4</sub>、R<sub>6</sub>、R<sub>10</sub>、R<sub>15</sub>およびR<sub>16</sub>は、それぞれ互いに独立して、水素、あるいは非置換またはヒドロキシル、スルホ、スルファト、カルボキシルもしくはシアノで置換されたC<sub>1</sub>～C<sub>4</sub>アルキルであり、

R<sub>2</sub>、R<sub>5</sub>、R<sub>7</sub>、R<sub>13</sub>およびR<sub>14</sub>は、それぞれ互いに独立して、水素、C<sub>1</sub>～C<sub>4</sub>アルキル、C<sub>1</sub>～C<sub>4</sub>アルコキシ、C<sub>2</sub>～C<sub>4</sub>アルカノイルアミノ、ウレイド、スルファモイル、ハロゲン、スルホまたはカルボキシルであり、

R<sub>3</sub>は、アミノ、またはN-モノもしくはN,N-ジ-C<sub>1</sub>～C<sub>4</sub>アルキルアミノであり、

、R<sub>8</sub>は、水素、スルホメチル、カルバモイルまたはシアノであり、

R<sub>9</sub>は、C<sub>1</sub>～C<sub>4</sub>アルキルであり、

R<sub>11</sub>およびR<sub>12</sub>は、それぞれ互いに独立して、水素、C<sub>1</sub>～C<sub>4</sub>アルキル、C<sub>1</sub>～C<sub>4</sub>アル

コキシ、ハロゲン、スルホまたはカルボキシルであり、

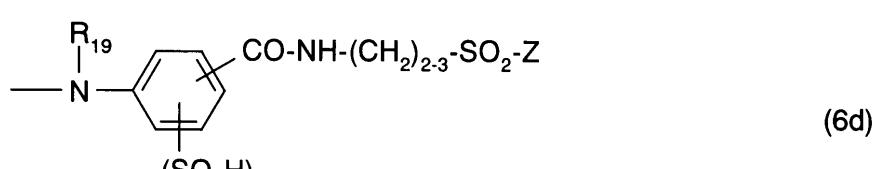
Bは、1、2または3個の-O-で中断されていてもよく、かつ非置換またはヒドロキシもしくはスルファトで置換されたC<sub>2</sub>～C<sub>6</sub>アルキレン基であるか、あるいはそれぞれ非置換またはC<sub>1</sub>～C<sub>4</sub>アルキルで置換されたシクロヘキシレン基もしくはメチレンシクロヘキシレン基であるか、あるいはそれぞれ非置換またはC<sub>1</sub>～C<sub>4</sub>アルキル、C<sub>1</sub>～C<sub>4</sub>アルコキシ、ハロゲンもしくはスルホで置換されたフェニレンもしくはメチレンフェニレンメチレン基であり、

hは、0または1の数であり、

kは、1、2または3の数であり、

V<sub>1</sub>は、式(6a)、(6b)、(6c)または(6d)：

【化4】



で示される基であって、

R<sub>17</sub>およびR<sub>19</sub>は、それぞれ互いに独立して、水素、あるいは非置換またはヒドロキシル、スルホ、スルファト、カルボキシルもしくはシアノで置換されたC<sub>1</sub>～C<sub>4</sub>アルキルであり、

R<sub>18</sub>は、C<sub>1</sub>～C<sub>4</sub>アルキル、C<sub>1</sub>～C<sub>4</sub>アルコキシ、ハロゲンまたはスルホであり、

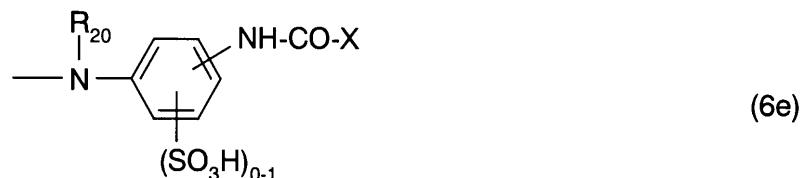
Zは、基：-CH=CH<sub>2</sub>または-CH<sub>2</sub>-CH<sub>2</sub>-Yであり、Yは脱離基であり、

mは、0、1または2の数であり、

nは、0または1の数であり、そして

V<sub>2</sub>、V<sub>3</sub>、V<sub>4</sub>およびV<sub>5</sub>は、それぞれ互いに独立して、上記の式(6a)、(6b)、(6c)もしくは(6d)の基、または式(6e)：

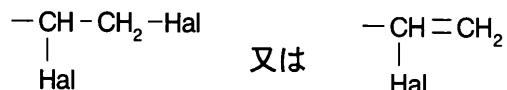
【化5】



(式中、R<sub>20</sub>は、水素、あるいは非置換またはヒドロキシル、スルホ、スルファト、カルボキシルもしくはシアノで置換されたC<sub>1</sub>～C<sub>4</sub>アルキルであり、

Xは、基：

## 【化6】



であり、Halは、臭素または塩素である)

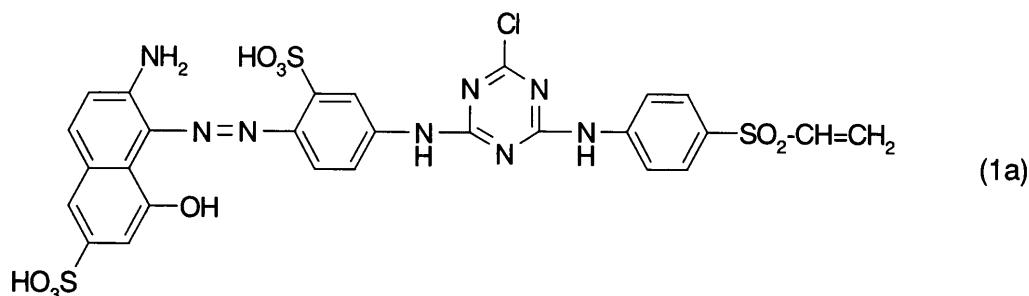
で示される基であり、

ただし、式(1)の染料は、二つのスルホ基を有するものとする)  
と一緒に用いることを特徴とする方法。

## 【請求項2】

式(1)の反応染料が、反応染料(1a)：

## 【化8】

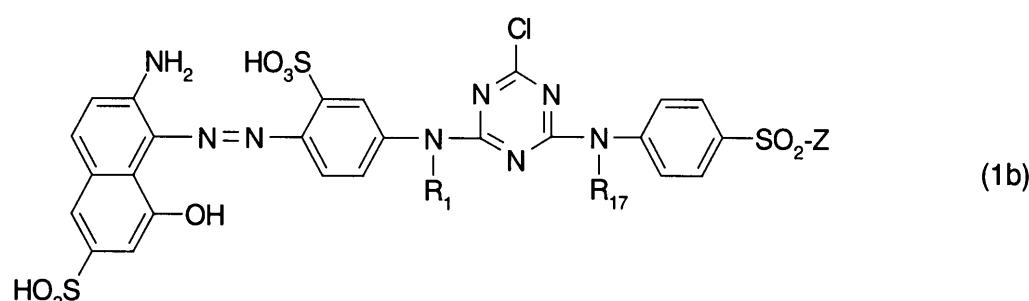


である、請求項1記載の方法。

## 【請求項3】

式(1b)：

## 【化9】



[式中、R<sub>1</sub>およびR<sub>17</sub>は、それぞれ互いに独立して、水素、あるいは非置換またはヒドロキシル、スルホ、スルファト、カルボキシルもしくはシアノで置換されたC<sub>1</sub>～C<sub>4</sub>アルキルであり、

Zは、基：-CH=CH<sub>2</sub>または-CH<sub>2</sub>-CH<sub>2</sub>-Yであり、Yは脱離基である]  
で示される反応染料。

## 【請求項4】

天然または合成ポリアミド繊維材料を浸染もしくは捺染するための請求項3記載の式(1b)の反応染料の使用。